

西脇市学校部活動地域移行検討会議の記録

会議等の名称	第3回西脇市学校部活動地域展開検討会議
開催日時	令和7年10月9日(木) 午後7時00分～午後9時15分
開催場所	西脇市役所大会議室(3階)
出席委員の氏名又は人数	9人
欠席委員の氏名又は人数	5人
出席職員の職・氏名又は人数	9人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	4人
議題又は協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブ活動の認定要件及び指導者の資格要件について ・地域クラブ団体の公募について ・平日の地域展開について ・意見交換
会議の記録(概要)	
発言者	
事務局	<p>【資料1】愛称募集の一次審査</p> <p>応募者は97名、応募作品が220点であった。検討会議委員から10点ずつ選出いただいた。取りまとめのうえ、小中学生による投票を経て、12月頃に愛称を決定する。</p>
事務局	<p>【資料2】地域クラブ活動の認定要件及び指導者の資格要件</p> <p>指導体制について、前回の会議では指導体制は複数の見守りとしていたが、安全が確保できるなら、常時1名以上の指導・監督で可能とした。また、資格要件のハードルが高すぎると意見をいただいた。基本要件の1から4は必ず満たしておく必要があるが、専門要件については①から⑤のどれか1つあれば、指導者の資格要件を満たすことになる。</p>
委員長	<p>専門要件はいずれか一つと明確にしている。可能な</p>

委員 事務局	<p>限り携わる指導者を確保したいという趣旨だと思う。 研修について説明していただきたい。 指導者になっていただく方には、研修の受講を課している。研修は10項目ほどを予定している。1つの項目当たり5分から10分程度の内容の研修である。オンデマンドで研修いただき、見終わった方には修了書を発行する。研修を3年に1回以上受講していただく。西脇市の活動に対して指導される方には、西脇市で指定する研修を受講していただく。</p>
委員長	<p>中学生のために活動する団体を募集するときに、中学生だけの団体として新規に立ち上げるのか、既に小学生だけ又は大人だけの活動に中学生も入るのか、整理しておかないといけない。その選択肢がなければ、中学生だけの活動を対象に新たに立ち上げる必要があると思ってしまう、それこそ申込みが全くない可能性もあるとともに、ハードルが高くなる。</p>
委員 事務局	<p>常時1名以上の指導者とされているが、指導者数の上限は考えているのか。 競技種目や活動種目によって、1人で指導できる生徒の数は、大きな違いがあると思う。生徒何人に対して指導者が何人と決めていないが、生徒が安全に活動できるような体制を取っていただきたい。</p>
委員 委員長	<p>陸上競技は、参加者が多数おり、多種目にわたるため、3人の指導体制では足りない。もっと多くの指導者で関わられるよう、バックアップしてほしい。 資料2の承認を求める。</p>
事務局 委員長	<p>《了承》</p> <p>【資料3】資格取得の助成 中学生を指導するための資格を取得するなら、資料の助成制度を利用できる。ただし、地域クラブとして大会に参加する場合に、例えば審判資格やコーチ資格などの専門的な資格が必要となれば、そのときの状況を見ながら考えたい。 制度を周知し、資格取得を支援していただきたい。</p> <p>【資料4】地域クラブ団体の公募</p>

事務局	実証事業に限らず、幅広く公募したい。運動部、文化部の一方に偏ることのないよう、バランスを考えたい。陸上競技と剣道については、引き続き来年度も実証事業への協力をお願いしたい。
委員長	実証事業の申込みと実証事業ではないが活動を始める団体の申込みの2つがあるので、説明会では、丁寧に伝える必要がある。
委員	生徒は複数の活動に参加しても構わないのか。今週は陸上競技、来週は剣道やテニスでもいいのか。
事務局	構わない。
委員	陸上競技に登録していて、1度も来ないことや、欠席連絡がないこともある。それを複数のクラブの登録を認めると、その参加しない子のために、保険料を市が負担する問題が出てくる。
委員長	欠席連絡の在り方は、よくある話である。学校と違い、連絡の義務がない。連絡すべきだと考えるのか、指導者が確認するのは負担になるので家庭の責任と考えるのかという議論を具体的に進めないといけない。どちらがいい、悪いではないが、必ず議論になる。
委員長	保険料は、複数の地域クラブ活動に参加するとき、団体が別なら、登録団体ごとに発生する。総合型スポーツクラブのようなスポーツクラブ21であれば、複数の種目に参加した場合でも、スポーツクラブ21という団体として登録しておけば、サッカーをしたときでもバレーボールをしたときでも保険が適用される。
委員	2つ聞きたい。1点目が、送迎について何か実証事業で考えているのか。もう1点が、活動費用の補助について、実証事業の中で、あるいは将来的に何か考えているのか。
事務局	1点目、活動場所への移動は、生徒自ら又は保護者による送迎としている。送迎についての課題への検証が必要であるが、送迎支援については、多額の予算が発生するため現状では対応できない。2点目、活動費用の負担額について、家庭の経済格差が体験格差に繋がるようなことはあってはならないと考えているため、経済的に苦しい家庭には、何らかの形で助成できないか考えていきたい。
委員	受益者負担となれば、登録できない生徒が増え、会

事務局	<p>費が集まらないことになったときに、その地域クラブは、立ち消えのようになるのか。</p> <p>種目によって必要な物品や活動経費も違う。各クラブで、参加人数に応じて、活動運営にはどれくらいの経費が必要か、それに対して会費をいくりに設定するのか、経営的な思考で運営していただくようになる。</p>
委員長	<p>地域クラブ活動を始めたが、時代や時流、生徒のニーズによって、終了せざるを得ないこともある。その状態をよしとするのか。あるいは市が救済すべきなのか。個人的には前者である。今までは、学校が部活動の廃止を宣言したら学校が叱られる。今回は、単純にクラブを募集するというのではなくて、生徒たちの動きや、それに関する大人の意識をどのように変えられるかが大きなポイントである。実証事業の開始に当たって、地域クラブに登録するように言われたから申し込んだだけということかもしれない。そのあたりをいろいろな角度で検証しておく必要がある。それが正式に始まるときに、糧になるし、材料になると思う。</p>
委員	<p>陸上競技で会費が急に必要になったときに、参加者が入らなくなる見込みをどのように考えるか。</p>
委員	<p>都麻の郷交流グラウンドの施設や設備を借りているが、完全移行になっても、実証事業と同様に利用できるのか。また、道具が高い。高跳び用セーフティマットやハードルなど、いずれは傷んでくる。それらを買替える場合、月々の会費で賄えるのか心配である。</p>
事務局	<p>会場使用料は、地域クラブに認定されると、学校施設であれば使用料を減免対応できる。今後、社会教育施設についても、減免扱いとしての対応を検討していく。市所有の施設に備え付けてあるのが当然である備品については、市で購入できると考えている。</p>
委員長	<p>事務局には、今年度の剣道と陸上競技での実証事業を行う中で、課題として出てきたものを丁寧に整理して、検討会議の委員に公開をしてほしい。</p>
委員	<p>指導をする教員、指導者を育成し、生徒たちを教える体制づくりに時間を使ってほしい。市側が急いでやろうとするあまりに、受け入れ体制の基盤が薄いものであれば、不安がたかさん残ると思う。令和9年度に休日の地域展開になっていくなら、その間に、指導者</p>

委員	<p>を育成する基盤、指導者が気持ちよく指導できるいろいろな条件を、市はどんどん出す勇気と、本気になる勇気を持ってほしい。やはり、育成することは、本気になることではないかと思う。</p>
事務局	<p>今の委員の発言からすると、スムーズに進めばいいが、それが整わなければ、時間がかかるときにはしばらく学校の教員がもう少し頑張る期間が延びるかもしれないという意見であると思ってよいか。</p>
教育長	<p>そうならないように、市としても先ほど意見をいただいた指導者の育成については、非常に重要な問題であると考えているからこそ、コミュニケーションツールを導入しようとするものである。生徒が指導者に直接言えないことをできるだけ拾い、市からクラブ側にフィードバックをしたい。これは、市がクラブを評価しようとするのではなく、指導の参考にしてもらえれば、と考えてのことである。</p>
委員	<p>私はこの土曜日ごとに実施している2つの実証事業について、ほとんど見学に行っている。指導者はきめ細かく声をかけている。コミュニケーションは非常に上手であり、いろいろな声掛けを丁寧にされている。</p>
事務局	<p>公募はどのようにしていくのか。募集の仕方をどのように事前告知していくのか。</p>
委員	<p>市のホームページ、広報にも紹介する。認定された活動をパンフレットで紹介することでPRができ、他の団体も手を挙げてくれるのを期待する。紙で配ることで、みんなの目に触れる。体験の機会なども考えられるが、まだ詰め切れていない。</p>
委員長	<p>生徒が選べるほど集まるのかを心配している。生徒には、学校から周知すれば、かなり伝わると思う。</p>
委員	<p>そこに関しては、西脇市の市民力が問われる。どの自治体でも、可能な限りすべての声かけと公募をしている。すべての世代に行き渡るような媒体で、市が本気で実施するかだけである。それで集まらなければ、「ごめんなさい、この市はその程度です」と詫びるしかない。そこまで言って何も動かないわけではないと思う。ぜひ行政に汗をかいていただきたい。</p>
委員	<p>声かけはとても大事である。公募することに関しては、半分以上は不発に終わると思う。委員長が言われ</p>

	<p>たように、この程度か、と思われたくない。一生懸命やろうとする生徒たちに対して、私たち大人が本気になって答える方法は何なのか、本当にみんなで、一生懸命考えないといけない。この程度かと思われる市にはしたくない。誘い方一つだと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>先日、他の自治体の地域クラブ活動のチラシを見てびっくりした。フラダンスやギター教室がある。部活動という言葉が本当に覆されて、カルチャークラブである。このような感じでいいのかと逆に思ってしまった。地域でいろいろな教室をされている方々、全員が手を上げている感じがする。地域クラブとしての活動と、自分の教室としての活動をどう区別するのか。私たち自身もけじめや境を理解した上で、手を挙げないといけないと思った。</p>
<p>委員長</p>	<p>行政は、そのこともすべて把握をした上で、興味を持たれた方には、地域団体の説明を丁寧にしてほしい。市町によっては、届出クラブと表現をしている自治体もある。教室や公民館など様々である。そこは、西脇市で考えればいい。しかしこの議論はすごく重要である。具体的に生徒たちの活動に対して、大人がどう関わるのか、というのが出てくる。</p>
<p>委員長</p>	<p>公募をするときにすべての条件を整えることはできないが、市の考えを丁寧に伝えることが必要である。また、公募が10月中旬から始まる予定であるが、説明会の開催が11月下旬では遅い。</p>
<p>事務局</p>	<p>説明会を早くした方が、検討に時間をかけることができる。開催時期を早める検討をする。</p>
<p>委員長</p>	<p>公募を開始すること自体は、皆さん異論がないと思う。どのような説明をしていくのかは、もう一度検討いただき、実施していただきたい。もちろん、第1次募集、第2次募集になっていくと思うので、まずは周知するという意味では必要だと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>公募を開始するという一方で、中身については引き続き、検討して進めてほしい。公募の開始は、承認いただけたと理解して進める。</p> <p style="text-align: center;">《了承》</p>

委員	<p>【資料5】平日の地域展開</p> <p>県下の様子を見ていると完全移行と段階的移行、未定、検討中など取組みは様々である。今後の流れや西脇市の方向性を教えてほしい。</p>
委員長	<p>各自治体で議論し、最終的には状況によって判断をしていく。教員に「もう少し頼む」という自治体と、中途半端な切り替えが難しいから、みんなが覚悟を決めて休日と平日を一緒にという自治体もある。</p>
委員	<p>平日と休日を分けることが難しい種目もあることを考えたときに、1案のほかに2案や3案が提示されたことは、選択肢が広がったと思う。2案と3案の違いは、どこまで準備ができるかということだと思う。例えば2案になれば、教員には少し先に伸びるという伺いはしないといけないと思う。種目によってそのようなことがあるのではないか。</p>
教育長	<p>いろいろな角度からの見方がある。教師や指導者、学校関係者サイドの意見もあれば、保護者サイドの意見もある。これらを勘案し、1案を提示した。委員から「こんな活動でいいんだ」という意見があった。多種多様な活動が出てきている。我々もこれから公募を始めたり、個人的に情報を得たりもしている。公募があることの情報提供も行っている。外部評論家のようなことではなくて、みんな一生懸命と一緒に頑張ってもらいましょう、と言われたと思う。3月頃にはパンフレットで情報提供できるように頑張っている。ぜひ、実現に向けて進めていきたい。</p>
委員	<p>休日の地域クラブ活動はできるかもしれないと思っている。生徒や保護者が思っているのは、毎日活動して上手になって強くなりたい生徒たちの受け皿になり得るような地域クラブができるかどうかではないか。</p>
事務局	<p>部活動そのものの考え方が大きく変わる中で、毎日平日に地域クラブ活動をするというのは、不可能だと思っている。まず、生徒の数が少なくなり、現状で既に部活動の維持ができなくなっている。そこから考えると、週に1回や2回の活動も許容していかないと社会として実装ができない。残念だが、そこに立たないと事業自体が進まないのが現実だと思う。</p>
委員	<p>中学生の保護者の本音は、「早く結論を出してほしい」</p>

委員長	<p>い」である。保護者から、「学校にバレーボール部がなければ、もっとバレーボールをさせたいので、違うところに行かせてもらおうか」との意見も出ている。他市町はどんどん動いている。保護者に対して早く報告していかないといけない。</p>
教育長	<p>重要なことである。2つしかないと思う。事務局提案の1案を了承するのか、まだ議論が尽くしていないので、今回は見送るか、どちらかの決断だと思う。平日の地域展開の時期は、令和10年度途中から、というのが教育委員会事務局として覚悟を決めて進めるという捉えで構わないか。</p>
委員長	<p>そうである。休日も平日も合わせて受け入れをしていただける団体があれば、前倒しで移行できる。保護者には具体的に早く示したい。これから頑張るって進行を加速させていきたいという思いは伝えておきたい。</p>
委員長	<p>原則は令和10年度中の平日の地域展開の案が出されたので、その方向で進めつつ、前倒しで地域展開もできる。平日の地域展開時期をどの順番で公表するのかは、慎重にしないとイケない。市民全体に公表していないのに、公募説明会で公表するのは好ましくない。覚悟を決めたということなので、1案でお願いします。</p>
事務局	<p>《1案を了承》</p>
事務局委員	<p>【資料6】救急対応マニュアル 資料6を説明</p>
事務局	<p>運動部は複数で指導する体制を取らないと、何かあった場合に指導者がいなくなれば、大変なことになると思う。</p>
事務局	<p>【その他】新入生保護者向け説明会 資料を説明</p>
事務局	<p>【その他】今後の会議予定 第4回検討会議を、令和8年2月頃に開催したい。</p>
問合せ先	生涯学習課（内線4050）